



日中笹川医学協力プロジェクト

笹川医学奨学金進修生同学会事業

2024 年度事業報告書

笹川医学奨学金進修生同学会

公益財団法人 日中医学協会

目次

1 短期診療技術・技能研修.....	1
1.1 腹腔鏡研修(黒龍江省).....	2
1.2 内視鏡研修(遼寧省).....	4
1.3 高血圧予防・治療研修(新疆ウイグル自治区).....	5
1.4 農村医師レベルアップ研修(雲南省).....	7
1.5 消化器疾患研修(北京市).....	9
1.6 産婦人科研修(北京市).....	12
2 中長期診療技術・技能研修.....	14
2.1 中医学研修(黒龍江省).....	15
2.2 中西学研修(江蘇省).....	16
2.3 産婦人科研修(北京市).....	17
2.4 高血圧予防・治療研修(新疆ウイグル自治区).....	18
3 地域医療支援活動.....	19
3.1 日本支部健康講座・健康相談会①.....	20
3.2 黒龍江省中医診断治療支援活動.....	23
3.3 日本支部健康講座・健康相談会②.....	24
3.4 陝西省消化器癌医療支援活動.....	26
3.5 湖南省腹腔鏡医療支援活動.....	28
4 支部学術会議.....	29
4.1 華北地区(遼寧省含む)支部学術交流会.....	30
4.2 東北地区学術交流会.....	33
4.3 西北・西南地区学術交流会.....	36
4.4 華南・雲南地区学術交流会.....	40
4.5 華東・湖北地区学術交流会.....	43
4.6 日本支部学術交流会.....	46
5 日中ハイエンド医学フォーラム.....	50
5.1「大健康」フォーラム.....	51
6 第46期研究者結団式.....	55
6.1 第46期研究者結団式.....	56
7 <共同研究コース>研究者成果報告会.....	58
7.1 <共同研究コース>研究者成果報告会.....	59
8 広報活動.....	66
8.1 『笹川生通』.....	67

1 短期診療技術・技能研修

1 短期診療技術・技能研修

1.1 腹腔鏡研修(黒龍江省)

期 間	2024年6月26日(水)～27日(木)
会 場	ハルビン市第一医院
実施責任者	李晓陽 ハルビン市第一医院副院長(第8期生)
受講者	外科医師会場32名、オンライン約2,000名(黒龍江省)
研修内容	ハルビン市第一医院の講師陣による講義と手術手技指導



講義と手技指導



集合写真

報告:2 日間の研修は、腹腔鏡手術技能研修をテーマとして、以下の 6 つのセッションで進められた。

- 1.腹腔鏡技術の基本
- 2.腹腔鏡下無緊張ヘルニア修復手術
- 3.腹腔鏡下胃スリーブ切除標準術
- 4.腹腔鏡下胆嚢手術と合併症予防
- 5.末梢血管疾患の診断と治療
- 6.腹腔鏡下裂孔ヘルニア手術

研修では、手術見学、実習、専門家による講義が行われ、一般外科領域における腹腔鏡手術の標準化プロセスと主要な技術について詳しく解説されました。特に、一般的に使用される手技と急速なりハビリテーションの概念を促進し、一次医療機関が腹腔鏡手術研修体系を確立する上で有益な知識が提供された。

研修期間中、ハルビン市第一医院の専門家が腹腔鏡技術の発展、手術の重要ポイント、合併症予防について講義し、豊富な臨床経験を共有した。また、以下の手術の実演を通して、精緻な技術と厳格な手順を示し、参加者の理解を深めた。

- 腹腔鏡下胃スリーブ切除術
- 甲状腺切除術
- 胆嚢摘出術
- ヘルニア修復術

この研修を通じて、参加者は腹腔鏡手術に関する専門的な技術と資質を向上させることができた。視野が広がるとともに、腹腔鏡技術を活用した安全かつ効率的な手術への理解が深まったことは、大きな成果と言える。

今回の研修は、腹腔鏡手術の技術向上と標準化に大きく貢献し、参加者の臨床技術の向上に役立ちました。今後も継続的な研修を行い、腹腔鏡手術技術のさらなる発展を目指すことが期待される。

1 短期診療技術・技能研修

1.2 内視鏡研修(遼寧省)

期 間	2024年7月6日(土)
会 場	中国医科大学附属盛京医院
実施責任者	趙 群 中国医科大学附属盛京医院教授、 中国医師協会副会長(第10期生)
受講者	外科医師 60 名(遼寧省)
研修内容	中国医科大学附属盛京医院の講師陣による講義と手技指導



講義様子



手技指導



記念写真

報告:盛京病院の専門家 7 名が、参加者の興味のある内視鏡による消化管出血の緊急応急処置、大腸 EMR の研究ノート、早期胃癌の内視鏡診断手順、慢性胃炎の内視鏡診断、超音波小型プローブの臨床応用、ESD でよく使用される器具の選択と使用方法について、講義を行った。また、盛京病院から 6 名の講師を招き、講師の指導の下で、参加者は生きたブタに対する内視鏡手術の実習を行った。主な実習は内視鏡的粘膜剥離術(ESD)、手術中に発見された早期消化管癌後のポリープを切除・剥離、研修生の手術習熟度を向上させた。研修生からは「減多にない勉強の機会なので、今後も研修の機会を増やしてほしい」との声が聞かれた。

1 短期診療技術・技能研修

1.3 高血圧予防・治療研修(新疆ウイグル自治区)

期 間	2024年9月7日(土)
会 場	新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センター
実施責任者	李南方 新疆ウイグル自治区人民医院副院長・高血圧センター長 (第7期、第40期生)
受講者	内科医師 231 名(新疆ウイグル自治区)
研修内容	新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センターの講師陣による講義



李 南方先生



講義様子



集合写真

報告:本研修では、著名な専門家による学術講演が行われ、心血管疾患と睡眠呼吸障害に関する最新の知識と治療法について、詳細な説明がなされた。研修には中国各地の専門家が参加し、新疆の一次医療機関の医療従事者に向けて、実践的な学習機会が提供された。

講演内容

研修期間中、以下の専門家がそれぞれの専門分野に関する講義を行った。

- 柳志紅教授(中国国家循環器病センター中国医学科学院阜外医院)
「閉塞性睡眠時無呼吸と肺高血圧症」
- 韓清華教授(山西医科大学第一附属医院)
「質の高い総合的な高血圧管理による患者の血圧目標達成」
- 趙徳超教授(ハルビン医科大学第一附属医院)
「二次性高血圧の初探究」
- 王玲教授(広東省人民医院)
「OSA 関連高血圧患者の管理」
- 姚曉光教授(新疆ウイグル自治区人民医院)
「2023 年閉塞性睡眠時無呼吸高血圧の臨床診断と治療に関する専門家コンセンサスの解釈」
- 汪迎春副主任医師
「睡眠ポリグラフ検査データの分析と臨床的考察」
- 艾力根・阿不都熱依木主任医師
「OSA の外科治療」
- 魏珍主治医師
「難治性高血圧の根源にたどる」

研修成果

この研修を通じて、参加者は高血圧、心血管疾患、睡眠呼吸障害の関係性に関する最新の理論を習得した。特に、一次医療機関の医療従事者にとって、実務に即した情報を得る機会となり、今後の診療において大いに役立つと考えられる。また、研修生からは「貴重な学習機会だった」「今後も研修の機会を増やしてほしい」との声が多く寄せられた。

1 短期診療技術・技能研修

1.4 農村医師レベルアップ研修(雲南省)

期 間	2024年9月12日(木)～14日(土)
会 場	雲南省徳宏州
実施責任者	李 松 昆明医科大学学長(第8期生)
受講者	医師 200 名(雲南省徳宏州)
研修内容	昆明医科大学の講師陣による講義と実地指導



講義様子



記念写真

報告:本研修は、徳宏州の県レベルの医療機関で総合医療に携わる医師を対象に実施された。専門家による講義を通じて、慢性疾患管理や最新の診療技術に関する知識が提供され、受講医師の診療能力向上を目的とした。

研修では、多岐にわたる医療分野について専門家による講義が行われた。主な講義テーマは以下の通り。

- 心血管疾患の予防治療と慢性疾患管理戦略
- 中医学の全科医学:特徴と本質
- 脊椎痛の診断と低侵襲治療
- 婦人科悪性腫瘍の予防治療
- 虚血性脳卒中の標準治療(実践からガイドラインへ)
- 糖尿病の臨床診断治療の考え方
- 冠動脈疾患の臨床診断治療の進展
- 肺動脈性肺高血圧症における右心カテーテル治療の応用
- うつ病の臨床診断治療の進展
- 甲状腺機能異常の臨床診断治療
- 冠動脈介入治療の新たな進展
- 市中肺炎の臨床診断と治療
- めまいの臨床診断治療の考え方
- 不眠症の標準化治療
- 消化器疾患の治療
- 重症患者の救助法
- 慢性心不全の薬物療法
- 『2023ESC 心筋症管理ガイドライン』の解釈
- 老年総合評価の意義と応用
- 姿勢低血圧と仰臥位高血圧の見分け方と対症方法

研修成果:

教授陣は、慢性疾患の診断と治療について詳細に解説し、受講医師は各疾患の予防と治療についてより明確な理解を得ることができた。研修を通じて、受講者は医学的知識と技術を深めるとともに、広い視野を持ち、今後の診療業務に役立てていく意欲を高めた。

また、参加者からは「実践的な学びが多く、今後の診療に大いに活かせる」「より多くの研修機会を希望する」との声が寄せられ、研修が非常に有意義であったことが伺える。

今回の研修を通じて得られた知識と技術を活かし、受講医師は日々の診療においてより質の高い医療を提供することが期待される。今後も継続的な研修を実施し、医療の発展と地域医療の充実に貢献していくことが求められる。

1 短期診療技術・技能研修

1.5 消化器疾患研修(北京市)

期 間	2024年9月21日(土)～22日(日)
会 場	中日友好医院(北京市)
実施責任者	孟華川 中日友好医院国際交流室日本プロジェクト主幹 (第42期生<学位取得コース>)
受講者	医師・看護師 100名(北京市)
研修内容	日本側専門家による講義、中日友好医院の講師陣による講義



岡田唯男 亀田ファミリークリニック館山院長
「日本における市中肺炎(CAP)管理モデルの紹介」



地域保健サービスセンター医師の講義



中西医統合呼吸器疾患症例検討ワークショップ
グループ症例検討



呼吸器疾患外来対応ワークショップ
模擬外来対応

報告:呼吸器疾患は中国において罹患率が多い疾患の一つであり、地域医療の向上と医療格差の解消を目的として、笹川同学会は2016年より毎年研修を実施している。本年の研修は、北京近郊の診療所に勤務する医師30名を対象に、日本および中国の専門家による講演や講義、ワークショップを通じて、最新の診療知識と技術を習得することを目的とした。

研修では、以下の講義とワークショップが実施された。

- 日本の専門家による講演

笹川同学会の要望により、岡田唯男氏(亀田ファミリークリニック館山院長)に「日本における市中肺炎(CAP)管理モデルの紹介」についてご講演いただいた。講演では、日本呼吸器学会の「成人肺炎治療ガイドライン2024」の紹介、市中肺炎(CAP)および医

療・介護関連肺炎(NHCAP)の診療に関する説明、日常診療のアドバイスなどが含まれ、参加者は熱心に聴講し、多くの質問が寄せられた。

- 中国の専門家による講義

岡田氏の講演後、什刹海保健サービスセンターの連元元主任と張麗娜教授による「地域における呼吸器疾患のスクリーニングと管理モデル」に関する講義が行われ、地域医療における呼吸器疾患の早期発見と対応について学んだ。

- ワークショップ

午後には、以下のワークショップが開催された。

- 中西医統合呼吸器疾患症例検討ワークショップ(地域連携編)

- 中日友好医院の総合診療医および北京市内の地域保健サービスセンターの医師による講義後、参加者はグループごとに症例検討を行い、診療に活かすべきポイントを整理した。

- 地域における呼吸器疾患外来対応ワークショップ

- 模擬外来対応を実施し、診療技術の向上を図った。

研修成果と展望：

研修参加者は、講義やワークショップを通じて最新の知識を習得し、診療に活かすための具体的な学びを得ることができた。また、地域医療の質向上に貢献できるよう、今後の実践に活かしたいとの声が多く聞かれた。

本研修を契機に、医師の診療技術向上と地域医療の充実が進むことが期待される。今後も継続的な研修を実施し、地域における呼吸器疾患の予防・診療体制を強化していくことが望まれる。

1 短期診療技術・技能研修

1.6 産婦人科研修(北京市)

期 間	2024年11月28日(木)～29日(金)
会 場	北京協和医院(北京市)
実 施 責 任 者	孫大為 北京協和医院産婦人科教授(第10期生)
受 講 者	医師 61 名(内モンゴル自治区、チベット自治区、湖南省、黒龍江省)
研 修 内 容	北京協和医院産婦人科の講師陣による講義と手術手技指導



講義と会場様子



集合写真

報告:本研修は、産科・婦人科領域の一般的な疾患と治療技術について理解を深めることを目的として実施された。講義と実習を組み合わせることで、受講者の知識と技術向上を図った。

研修では、以下の主要なテーマについて講義が行われた。

- 婦人科炎症の診断と治療
- 女性骨盤底障害の管理
- 子宮頸がん検診の最新技術
- 生殖補助医療技術の概要
- 瘢痕妊娠の診断と対策
- 産科出血の緊急対応
- 子宮異常出血の治療法
- 子宮外妊娠の管理
- 胎児心拍モニタリングの活用

実習と成果:

座学に加えて、29日の午後には実習が行われ、研修生は実践的な婦人科・産科救急処置の技術を習得した。緊急事態に迅速に対応する重要性を認識し、実際のケースに即した処置法を学んだ。

研修を通じて、受講者の専門知識と技術は向上し、特に救急処置の重要性と適用方法についての理解が深まった。研修生からは、「非常に有益で実践的な内容だった」「今後もレベルの高い研修に参加したい」との声が寄せられた。

今後の展望

研修を通じて習得した知識と技術を活かし、受講者は今後の診療において質の高い産科・婦人科医療を提供することが期待される。引き続き研修を継続し、地域医療の充実と技術向上に貢献することが重要である。

2 中長期診療技術・技能研修

2 中長期診療技術・技能研修

2.1 中医学研修(黒龍江省)

期 間	2024年10月～2025年3月
場 所	黒龍江中医薬科学研究院(黒龍江省ハルビン市)
実施責任者	李顕筑 黒龍江中医薬科学研究院教授(第9期生)
受講者	丁偉 ハルビン一辰医院中医科医師 于新宇 大興安岭地区中医医院医師
研修内容	中医学の臨床研修



直接指導

2 中長期診療技術・技能研修


2.2 中西学研修(江蘇省)

期 間	2024年10月～2025年3月
場 所	江蘇省中医院(江蘇省南京市)
実施責任者	孫 偉 江蘇省中医院腎内科教授(第18期生)
受 講 者	齊広瑞 貴州省遵義市中医院腎内科医師 宗芸 重慶市奉節県中医院腎内科医師
研 修 内 容	中医学の臨床研修
 <p>直接指導</p>  <p>孫偉先生、李忠金秘書長と研修生たち</p>	


2 中長期診療技術・技能研修

2.3 産婦人科研修(北京市)

期 間	2024年10月～2025年3月
場 所	北京協和医院(北京市)
実 施 責 任 者	孫大為 北京協和医院婦産科教授(第10期生)
受 講 者	丹增措姆 チベット自治区人民医院婦産科医師 伊吉楽 内モンゴル自治区フフホト市第一医院婦産科医師
研 修 内 容	産婦人科の臨床研修



直接指導



2 中長期診療技術・技能研修

2.4 高血圧予防・治療研修(新疆ウイグル自治区)

期 間	2024年10月～2025年3月
場 所	新疆ウイグル自治区人民医院
実施責任者	李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血压センター長、 新疆高血压研究所所長(第7期生・第40期生<共同研究コース>)
受講者	阿布都熱合曼・阿布力克木 ウルムチ市水磨沟区人民医院医師 馬志勲 阿克蘇市人民医院医師
研修内容	高血圧予防・治療の臨床研修



直接指導



李南方先生と研修生

3 地域医療支援活動

3 地域医療支援活動

3.1 日本支部健康講座・健康相談会①

期 間	2024年7月14日(日)
会 場	アスパア明石(兵庫県明石市)
実 施 責 任 者	呉小玉 京都光華女子大学教授(第 21 期生)
参 加 者	56名(中国残留邦人とその家族、在留中国人他)
活 動 内 容	謝海棠聖徳大学大学院看護研究科教授(第 21 期生)の講演「どうすれば老いとうまく付き合えるか？」の後、身体測定と個別に中国語による健康相談を行った。本活動は、中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会、兵庫県立大学地域ケア開発研究所、兵庫県看護協会東播支部、兵庫県明石市福祉事務所と協力して行った。



笹川同学会日本支部メンバー(医師・看護師)





現地患者診察



血圧測定



体重測定



中国語での健康個別相談



生活習慣病改善リーフレット配布



笹川同学会日本支部、明石市福祉事務所、中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会、
兵庫県看護協会東播支部、兵庫県立大地域ケア開発研究所の皆さま

2024年(令和6年)8月15日 木曜日

わがまち

明石

きょうの天気
明石 三木
午前 午後 夜
29 29 29
34 34
28 26
あすの天気
34 34
28 26
あすの天気
34 34
28 26

残留孤児へ中国語健康相談

市内外の1、2世25人参加

内外の約25人が参加。主催者は「2世も含めた支援が必要」と訴えている。残留日本人孤児とその家族の健康向上を目的に数年前から実施。同会や笹川学友会、進修生同会、日本支部などが共催した。今回はコロナ禍もあり5年ぶりの開催となった。

講演会では、聖徳大学大学院看護学研究科教授(第21期笹川生)が「健康から人生100年時代を考える」と題する講演を行い、高齢化に伴う身体的、心理的な変化とどのようにして上手に付き合って健康生活を維持するかについて中国語で分かりやすく解説された。

講演の後、兵庫県看護協会や兵庫県立大学のボランティア看護師による血圧、脈拍、血管年齢等身体組成の健康測定と笹川同学会日本支部の専門家による個別相談が並行して行なわれた。健康測定では笹川同学会日本支部のメンバーが看護師の問診を中国語で説明し、順調に進んだ。個別相談会では様々な相談が寄せられ、一人一人の健康上の不安や悩みを丁寧に聞いてアドバイスしていた。

参加者からは、「中国語で相談できたので、よく理解・納得できて、健康面での不安がすっかりした」と好評だった。

健康講座・個別相談会を通じて、良い生活習慣を採り入れ、心身ともに健康な日々を過ごされるよう期待する。

神戸新聞明石版 8月15日朝刊に掲載されました。

報告：中国残留邦人とその家族は、中高年になってから帰国されたため、日本語の習得が難しく、「医療機関に行きにくい」ことがあり、明石市福祉事務所より「中国残留日本人孤児を支援する兵庫の会」を通じて、中国語による健康講座を行ってほしいとの依頼を受け、2017年2月、第1回健康講演会・健康相談会を開催した。その後毎年開催している。

2024年度第1回健康講演会・健康相談会は、コロナ禍を経て、5年ぶりに、7月14日(日)、兵庫県明石市アスパア学習室で開催され、中国残留邦人とその家族等24名が参加された。

健康講演会では、謝海棠 聖徳大学大学院看護学研究科教授(第21期笹川生)が「健康から人生100年時代を考える」と題する講演を行い、高齢化に伴う身体的、心理的な変化とどのようにして上手に付き合って健康生活を維持するかについて中国語で分かりやすく解説された。

講演の後、兵庫県看護協会や兵庫県立大学のボランティア看護師による血圧、脈拍、血管年齢等身体組成の健康測定と笹川同学会日本支部の専門家による個別相談が並行して行なわれた。健康測定では笹川同学会日本支部のメンバーが看護師の問診を中国語で説明し、順調に進んだ。個別相談会では様々な相談が寄せられ、一人一人の健康上の不安や悩みを丁寧に聞いてアドバイスしていた。

参加者からは、「中国語で相談できたので、よく理解・納得できて、健康面での不安がすっかりした」と好評だった。

健康講座・個別相談会を通じて、良い生活習慣を採り入れ、心身ともに健康な日々を過ごされるよう期待する。

3 地域医療支援活動

3.2 黒龍江省中医診断治療支援活動

期 間	2024年8月2日(金)～4日(日)
会 場	綏芬河市中医院(黒龍江省綏芬河市)
実 施 責 任 者	李顕筑 黒龍江省中医薬科学院教授(第8期生)
参 加 者	120名(県レベルの病院に勤務する中医師)
活 動 内 容	李顕筑氏を含む黒龍江省中医薬科学院の医師5名が1対1で現地医師の指導を行い、現地の患者を診察した。



現地患者診察

報告: 支援活動中、専門家は患者の検査報告書を詳しく説明し、患者の病歴を確認し、望診、聞診、問診、切診を通して、患者の病気や苦痛を和らげるための個別治療計画を立てた。専門家たちは回診し、指導を行った。回診時、患者と対面で、患者の病状と治療法を把握し、現地医師に患者の複雑な病状に直面し、病歴の聞き方、病状の分析方法、正しい診断と治療計画の立て方などを詳しく指導した。

3 地域医療支援活動

3.3 日本支部健康講座・健康相談会②

期 間	2024年11月3日(日)
会 場	所沢市松井公民館(埼玉県所沢市)
実 施 責 任 者	池田マリア 湘南藤沢徳洲会病院看護師(第13期生)
参 加 者	42名(中国残留邦人とその家族、在留中国人他)
活 動 内 容	謝海棠聖徳大学大学院看護研究科教授(第21期生)の講演「どうすれば老いとうまく付き合えるか?」の後、「内科全般・皮膚科・漢方・婦人科」「神経内科・腫瘍内科」「眼科・外科」「中医・薬剤」「看護・介護・健康生活」の5グループに分かれて、個別に中国語による健康相談を行った。本活動は介護グループの一笑苑、新座こだまクリニックと協力して行った。



講師:謝 海棠先生
 嵯峨川同学会日本支部
 看護師部門担当(第21期)
 聖徳大学大学院
 看護研究科・教授



会場様子



個別相談会



報告：本健康講座・健康相談会を二部に分けて行いました。

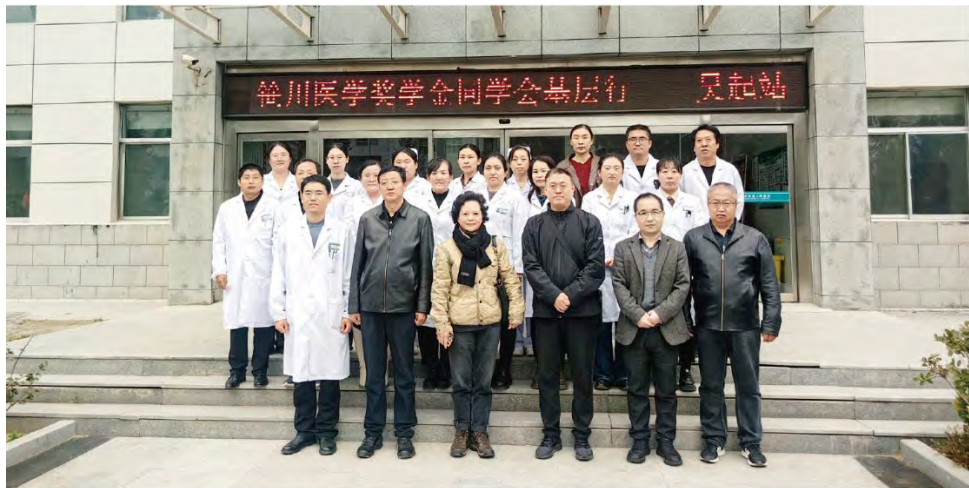
第一部では、健康講演会として、日本支部看護部門担当の謝海棠教授より「どうすれば老いとうまく付き合うか」というテーマで、少子化・高齢化問題は世界共通的な課題、加齢変化に伴い身体的な変化、心理的な変化や、どのようにうまく付き合っていくか、自分自身の老いにどのように立ち向かっていくか等について、分かりやすく中国語で講演した。中国残留邦人の皆さんと支援する団体の出席者もその内容を興味津々に聞いていた。その後、10分間の積極的な質疑応答を行い、第一部が円満に終えた。

第二部では、「内科全般・皮膚科・漢方・婦人科等」、「神経内科、腫瘍内科等」、「眼科・外科等」、「中医・薬等」、「看護・介護・健康生活等」の5つの専門分野に分けて、日本支部の専門家による健康相談を行った。日本支部の各専門分野の担当者らは真面目に来場者らの話に耳を傾け、来場者らがかかっているいろいろな悩み、心配することや質問等に対して丁寧に分かりやすく説明し、解決・解消する方法、受診・治療や健康管理等についても細かく助言してあげた。来場者らも熱心に聞き、すごく満足できた様子だった。

3 地域医療支援活動

3.4 陝西省消化器癌医療支援活動

実 施 日	2024年11月11日(月)
場 所	呉起県医院(陝西省延安市呉起県)
実施責任者	張 軍 西安交通大学第二附属医院教授(第11期生)
参 加 者	40名(呉起県医院消化器科医師・看護師)
活 動 内 容	西安交通大学第二附属医院の3名の医師が講義と実地指導を行った。
 <p>現地指導</p>	



記念撮影

報告: 今回の支援活動は、難病カンファレンス、手術指導、二級病院医師研修、ボランティア診療などを行った。西安交通大学第二附属医院消化器内科と腫瘍科の専門家たちは、豊富な臨床経験で患者の質問に答え、患者の病歴と現在の状況に応じて、的確な診断をし、治療法も提示し、薬の使用と食事構成の提案も行った。また、活動期間中、様々な症例に応じて、現地医師との交流や研修も行われ、活動全体は現地の患者に熱く歓迎され、患者は三級病院の専門家によるハイレベルな診断・治療サービスを受けた。

3 地域医療支援活動

3.5 湖南省腹腔鏡医療支援活動

実 施 日	2025年1月11日(土)～12日(日)
場 所	溆浦県人民医院(湖南省懷化市溆浦県)
実施責任者	李永国 中南大学湘雅二医院教授(第1期生)
参 加 者	100名(県レベルの病院に勤務する医師)
活 動 内 容	中南大学湘雅二医院の講師陣が講義と実地指導を行った。
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>講義</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>現地指導</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>会場様子</p> </div>	
<p>報告: 中南大学湘雅第二医院胆膵外科の劉威教授、文宇教授、鄒恒副主任医師、周江蛟副主任医師の4名専門家が「胆膵外科内視鏡診断治療システムの応用」、「中後期肝癌のトランスレーショナル治療戦略と考え方」、「胆管損傷の予防と治療」、「膵臓手術合併症の予防と治療」テーマの講義をし、研修生たちと討論を行った。その後、李永国、劉威、李清龍、文宇教授と劉娟看護師長は、溆浦県人民病院肝胆膵外科で回診し、難病カンファレンスを行った。午後、現地医師の強い希望で、何超医師は ERCP 手術の実演を行い、最後に、貧困患者2人に無料で胆嚢摘出手術を行った。</p>	

4 支部学術会議

4 支部学術会議

4.1 華北地区(遼寧省含む)支部学術交流会

開催日	2024年6月29日(土)
場所	承德山庄(河北省承德市)
実施責任者	許 順 中国医科大学附属第一医院胸外科教授(第15期生) 孟召偉 天津医科大学総医院核医学科教授 (第30期生・第40期生<共同研究コース>・第45期生<共同研究コース>)
参加者	50名 天津市、河北省、山東省、遼寧省の笹川同学会会員
テーマ	各種結節(肺、乳腺、甲状腺)の診断治療および重要性
プログラム	<p>1)王学晶 北京協和医院乳腺外科准教授 「乳腺結節の診断と治療」</p> <p>2)李伝海 解放軍第九六〇医院胸外科准教授 「肺すりガラス状結節の認識と処理原則」</p> <p>3)田素斎 河北医科大学第二医院養老センター(第22期生) 「肺結節と乳腺結節がある場合の対処方法」</p> <p>4)孟召偉 天津医科大学総医院核医学科教授 (第30期生・第40期生<共同研究コース>・第45期生<共同研究コース>) 「甲状腺結節について」</p> <p>5)孫艶彬 中国医科大学附属第一医院胸外科准教授(第37期生) 「肺結節の全工程管理」</p> <p>会員情報交流</p>
	
会場様子と集合写真	



講演会様子

報告：胸部外科の専門家が肺結節の診断と治療のポイントを深く分析した。肺結節の正確な診断には多角的な情報を組み合わせる必要があり、大きさ、形態、密度などの従来の画像的特徴に加え、良性・悪性の判断の補助として新たな腫瘍マーカー検査が登場していることが指摘された。多数の臨床病例の分析を通じて、肺結節の早期発見と正確な性質の評価が、肺癌の早期診断と治療にとって非常に重要であり、患者の5年生存率を大幅に改善し、病気の予後を変えることができることが強調された。

甲状腺の専門家は、甲状腺結節の診断と治療について詳しく説明した。現在、甲状腺結節の評価には超音波検査が重要な役割を果たしており、TI-RADS 分類システムにより高リスク結節の初期スクリーニングが可能である。遺伝子検査などの分子診断技術の進歩は、診断精度をさらに向上させ、不必要な手術を回避し、患者の医療負担を軽減する一方、的確な治療は甲状腺の正常な生理機能を効果的に維持し、患者の生活の質を守ることができる。

乳癌外科の専門家は、乳房結節の最先端の診断と治療コンセプトを共有した。触診、超音波検査、マンモグラフィ、磁気共鳴画像法(MRI)を併用することで、乳房結節の良性・悪性をより総合的かつ正確に識別できることが強調された。良性結節の場合、保存的治療と定期的な経過観察が患者の心理的プレッシャーを軽減し、悪性結節の場合、集学的治療モデル(MDT)が患者の長期生存とQOLを大幅に改善することから、乳房結節の診断と治療における標準化された診断・治療手順の重要性が浮き彫りになった。

シンポジウム終了後、参加者からは、各分野の専門家の講演により、体の様々な部位の結節の診断と治療にはそれぞれ特徴があるが、いずれも正確な診断、個別化された治療、患者の予後の改善という核心的な目標に密接に関連していることを深く理解することができた。今後、専門家の知恵に学び、臨床診断と治療プロセスを最適化し、結節患者により質の高い医療サービスを提供していきたい、との感想が聞かれた。

笹川医学奖学金委员会办公室
地址：北京市海淀区西直门北大街联想路101号
西直门公寓C座0248
联系电话：010-62256266 15901208067
邮箱：scf000@vip163.com
网址：https://www.sakw.net



笹川医学奖学金天津、河北、山东及辽宁分会 各种结节的诊治及其意义 (肺、乳腺及甲状腺)

主办单位：笹川医学奖学金学会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
承办单位：笹川医学奖学金学会天津、河北、山东及辽宁地区分会
2024年6月29日

会议时间：2024年6月29日(周六)
会议地点：承德山庄
会议安排：6月29日 14:00 签到
6月29日 14:30—18:00 学术研讨会
6月29日 18:00 晚宴

主题：各种结节的诊治及其意义 (肺、乳腺及甲状腺)

会场主持人 李忠金 先生(笹川12期生)
笹川医学奖学金学会 秘书长

会议议程

14:00-14:30 签到
14:30-14:35 致辞 赵群 先生(笹川10期生) 笹川医学奖学金学会 理事长
14:35-14:40 致辞 冈田光子 女士 日中医学协会 事务局局长
14:40-15:30 题目：乳腺结节的诊断与治疗
王学晶 副教授
北京协和医院 乳腺外科

15:30-16:00 题目：肺磨玻璃结节的认识及处理原则
李传海 副教授
解放军第九六〇医院 胸外科
16:00-16:30 题目：得了肺结节乳腺结节怎么办？
田家雷 主任护师(笹川22期)
河北医科大学第二医院 养老中心
16:30-17:00 题目：甲状腺结节
孟召伟 教授(笹川30期)
天津医科大学总医院 核医学
17:00-17:30 题目：肺结节的全面管理
孙艳彬 副教授(笹川37期)
中国医科大学附属第一医院 胸外科
17:30-17:40 总结
赵群 教授(笹川10期)
笹川医学奖学金学会 理事长
17:40-18:00 合影
18:00-19:30 晚宴

4 支部学術会議

4.2 東北地区学術交流会

開催日	2024年7月13日(土)
場所	チチハル富力万達嘉華酒店(黒龍江省チチハル市)
実施責任者	趙樹華 吉林大学中日聯誼医院中医科教授(第4期生) 李顕筑 黒龍江省中医薬科学院教授(第8期生)
参加者	50名 黒龍江省、吉林省の笹川同学会会員
テーマ	DRG 医療制度改革
プログラム	<p>1) 福田夏樹 在中国日本国大使館一等書記官 「日本のDPC制度」</p> <p>2) 許鳳娟 ハルビン医科大学附属第一医院病例統計センター主任 「DIP支払制度による清算書記入ルール」</p> <p>3) 孟繁波 吉林大学中日聯誼医院心臓内科教授(第25期生) 「医師から見たDRP」</p> <p>4) 金京春 延辺大学附属医院リウマチ免疫学科教授 (第40期生<共同研究コース>) 「DIP支払改革の対応策」</p> <p>会員情報交流</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>許鳳娟先生</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>福田夏樹氏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>孟繁波先生</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>会場様子と集合写真</p> </div>	

報告:会議では、在中国日本国大使館福田夏樹一等書記官が、日本の DPC 制度について詳しく紹介した。DPC 制度とは、患者の診断、治療方法、看護ケアなどの多角的な情報を組み合わせ、入院日数に応じて分割して支払う診断手技グルーピング支払制度である。診断群分類のみに基づく従来の DRG 固定支払いモデルとは異なり、DPC システムは患者の実際の状態や医療ニーズをよりよく反映し、特に慢性疾患を持つ高齢患者に適している。このシステムは、1 日単位の固定支払を導入し、平均在院日数を短縮し、病床回転率を改善し、過剰なコスト管理による医療の質への影響を回避し、政策立案にデータを提供する医療の質評価システムとして機能する。ハルビン医科大学第一附属医院病例統計センター徐鳳娟センター長は、「疾病の分値支払い」を原則とする中国独自の健康保険支払い方式である DIP 支払い方式における請求リストの記入要件について発表した。ビッグデータに基づき、症例データを「疾病診断＋治療方法」によって分類し、地域の全サンプル症例データから疾病の組み合わせごとに位置を特定し、疾病の重症度や治療の複雑さを反映する。吉林大学中日聯誼医院心臓内科孟繁波教授は、医師の目から見た DRG について講演し、DRG 支払いの原理、利点、導入の難しさについて詳しく説明した。延辺大学附属医院金京春教授は、DIP 支払いにおける病院経営戦略を紹介した。

参加者はそれぞれの経験を共有し、診断・治療の最適化とコスト管理の強化により、健康保険資金の有効利用について議論した。また、医療の質とコストの正確なグループ分けとバランスの取り方についても活発な議論が交わされた。

笹川医学奖学会办公室

地址：北京市海淀区西直门北大街联想路101号
西楼公寓C座0248
联系电话：010-62256266 15901208067
邮箱：scf000@vip163.com
网址：https://www.sskw.net



笹川医学奖学金东北地区分会 DRG 医改研讨会

主办单位：笹川医学奖学会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
承办单位：笹川医学奖学金东北地区分会
2024年7月13日

会议时间：2024年7月13日（周六）

会议地点：齐齐哈尔富力万达嘉华酒店 三层多功能厅3厅

会议安排：7月13日 14:00 签到
7月13日 14:30—18:00 学术研讨会
7月13日 18:00 晚餐

主题：DRG 医改研讨会

会场主持人 李忠金 先生（笹川12期生）
笹川医学奖学会同学会 秘书长

会议议程

14:00-14:30	签到
14:30-14:35	致辞 赵群 先生（笹川10期生）笹川医学奖学会同学会 理事长
14:35-14:40	致辞 冈田光子 女士 日中医学协会 事務局局长

14:40-15:40	题目：日本的DPC制度 福田夏树 先生 日本国驻华使馆 一等秘书官	
15:40-16:40	题目：DIP支付制度下结算清单填写要求 许凤娟 主任 哈尔滨医科大学附属第一医院临床 统计中心主任	
16:40-17:10	题目：医生眼中的DRG 孟繁波 教授（笹川25期） 吉林大学中日联医院心内科	
17:10-17:40	题目：基于DIP支付改革的应对策略 金京翠 教授（笹川40期） 延边大学附属医院	
17:40-17:50	总结 赵群 教授（笹川10期） 笹川医学奖学会同学会 理事长	
17:50-18:00	合影	
18:00-19:30	晚餐	

4 支部学術会議

4.3 西北・西南地区学術交流会

開催日	2024年10月19日(土)
場所	漢中北岸云憬酒店(陝西省漢中市)
実施責任者	張 軍 西安交通大学医学院第二附属医院教授(第11期生) 李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センター長、 新疆高血圧研究所所長(第7期生・第40期生<共同研究コース>)
参加者	40名 新疆ウイグル自治区、陝西省、山西省、四川省、重慶市の会員
テーマ	DRG 医療改革
プログラム	<p>1) 福田夏樹 在中国日本国大使館一等書記官 「日本のDPC制度」</p> <p>2) 李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センター長、 新疆高血圧研究所所長(第7期生・第40期生<共同研究コース>) 「高血圧学科設立の重要性について考察と見解」</p> <p>3) 張 軍 西安交通大学医学院第二附属医院教授(第11期生) 「DRGの過去、現在と未来」</p> <p>4) 唐小海 重慶萊美薬業株式会社技術センター連合薬物実験室教授 (第11期生) 「進行性固形腫瘍におけるナノ炭鉄(CNSI-Fe)の応用」</p> <p>5) 丁群芳 四川大学華西老年医学センター(第25期生) 「医学の温かさで、高齢患者をもっと幸せに」</p> <p>会員情報交流</p>
 <p>会場様子</p>	



福田夏樹 在中国日本国大使館 一等書記官



李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血压センター主任(第7期笹川生)



張 軍 西安交通大学医学院第二附属医院教授(第11期笹川生)



唐小海 重慶萊美藥業株式有限公司技術センター連合薬物実験室教授(第11期笹川生)



丁群芳 四川大学华西老年医学センター(第 25 期笹川生)



集合写真

報告：学術交流会は、李忠金秘書長の司会のもと、「DRG 医療改革」をテーマに行われ、在中国日本国大使館福田夏樹一等書記官と 4 名の笹川同学会会員が講演された。

福田夏樹一等書記官は、迫井正深氏(厚生労働省医務技監)の論文『DPC はいかに誕生したか—DRG と DPC の違い—』(保健医学科学 2014Vol.63No.6)に基づき、日本が DPC (Diagnosis Procedure Combination)を導入した時代背景、導入の流れ、全国展開と現況について、わかりやすく紹介された。

李南方先生は、中国の高血圧症罹患率は年々増加傾向にあり、現在ではおよそ 2.5 億人が罹患しているとも言われている。この現状を踏まえ、長年の新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センターでの診療経験をもとに、高血圧症専門学科の設立の必要性について自らの考えを紹介した。

張 軍先生は、DRG (Diagnosis Related Groups) の概念とその歴史、アメリカにおける DRG システムの具体的な応用例、アメリカ DRG システムの問題点、中国での DRG の現状、中米両国の DRG システムの比較について説明し、さらに DRG 以外のシステムにも言及した。

唐小海先生は、CNSI-Fe の新型抗がん剤の特徴とメカニズム、臨床試験、CNSI-Fe と NIR (近赤外分光法) の併用応用について紹介した。

丁群芳先生は、2021 年から 3 年間、老年医学の専門家として派遣された海南省で、四川大学华西三医医院国家老年疾病临床医学研究センター海南支部センターの創設に尽力した経験を紹介した。

笹川医学奖学金同学会办公室

地址：北京市海淀区西直门北大街联建楼 101 号
西直门公寓 C 座 0248
联系电话：010-62256266 15901208067
邮箱：scf1000@vip163.com
网址：http://www.sakw.net

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

笹川医学奖学金西北地区分会 DRG 医改研讨会

主办单位：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
承办单位：笹川医学奖学金同学会西北地区分会
2024 年 10 月 19 日

会议时间	2024 年 10 月 19 日（周六）		
会议地点	汉中北岸云悦酒店 三层2号厅		
会议安排	10月19日	14:00	签到
	10月19日	14:30—18:00	学术研讨会
	10月19日	18:00	晚餐

主题：DRG 医改研讨会

会场主持人 李忠金 先生（笹川 12 期）
笹川医学奖学金同学会 秘书长

会议议程

14:00-14:30	签到
14:30-14:35	致辞 张军（笹川 11 期）笹川医学奖学金常务理事
14:35-14:40	致辞 冈田光子 日中医学协会 事务局长
14:40-15:40	题目：日本的 DPC 制度 福田真刚 先生 日本国驻华使馆 一等秘书官

15:40-16:10 题目：高血压学科建设必要性的思考
李南方 教授（笹川 7 期）
新疆维吾尔自治区人民医院

16:10-16:40 题目：DRG 的过去、现在和未来
张军 教授（笹川 11 期）
西安交通大学医学院第二附属医院

16:40-17:10 题目：纳米炭铁 (CNSI-Fe) 在晚期实体瘤中的应用
唐小海 教授（笹川 11 期）
重庆莱英药业股份有限公司技术中心联合
药物实验室

17:10-17:40 题目：用医学的温度让老年患者更幸福
丁群芳 教授（笹川 25 期）
四川大学华西老年医学中心


17:40-17:50 自由讨论

17:50-18:00 合影

18:00-19:30 晚餐

4 支部学術会議

4.4 華南・雲南地区学術交流会

開催日	2024年10月26日(土)
場所	南方科技大学會議センター(広東省深圳市)
実施責任者	王松靈 中国科学院院士・南方科技大学医学院院長(第8期生) 王甲東 中山大学教授(第1期生) 丘勇超 広州中医薬大学第一附属医院泌尿器外科教授(第5期生) 李永国 中南大学湘雅二医院教授(第1期生)
参加者	75名 広東省、湖南省、海南省の笹川同学会会員 尾形武寿日本財団理事長、跡見裕日中医学協会理事長、貴島善子在広州日本国総領事館総領事、石橋佑悟副領事出席
テーマ	口腔保健
プログラム	1)周 建 北京口腔医院教授 「口腔健康とケアについて」 2)李 松 昆明医科大学学長(第8期生) 「人の頭蓋骨の進化と口腔疾患」 3)李宝興 深圳市羅湖区人民医院教授(第12期生) 「留学生活が男性泌尿器科の研究や発展に与えた影響」 4)丁江峰 深圳市第六人民医院教授(第35期生) 「小児歯科の快適な治療法」 会員情報交流
	
会場様子	



趙群理事長



跡見理事長



石橋佑悟副領事



尾形武寿理事長



周 建先生



李松先生



丁江峰先生



李宝興先生

報告：笹川同学会の趙群理事長の開会挨拶に続いて、当協会の跡見理事長が挨拶し、次いで、石橋佑悟副領事が貴島善子総領事の祝辞を代読され、笹川同学会の活動が人々の健康向上に寄与していくことへの期待と応援のメッセージが伝えられた。また、笹川同学会事業への助成団体である日本財団の尾形武寿理事長が祝辞を述べられた。

学術交流会は、許順笹川同学会副理事長の司会進行のもと、「口腔保健」をテーマに行われ、3名が講演を行った。周建先生は口腔疾患の最新治療の紹介と口腔ケアの重要性について紹介し、口腔の健康が全身の健康に繋がることを言及された。李松先生は、人類の顎骨の進化に伴い口腔疾患がどのように変化してきたかを、人類の起源に遡って紹介した。丁江峰先生は、子どもが怖がらずに歯科治療を受診できるよう、無痛治療、鎮静治療等の最新治療への取り組みを紹介した。李宝興先生は、日本で学んだ腹腔鏡技術を活かす場として泌尿器男科（男性泌尿器科）を設立したこと、最新の治療法について紹介した。交流会終了後の懇親会には貴島善子総領事も出席され、笹川同学会への温かい励ましの言葉をいただいた。

笹川医学奖学金同学会办公室
地址：北京市海淀区西直门北大街联想路101号
西楼公寓C座0248
联系电话：010-62256266 15901208067
邮箱：scl000@vip163.com
网址：https://www.sskw.net



笹川医学奖学金同学会华南、云贵地区分会 口腔健康与保健

主办单位：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
承办单位：笹川医学奖学金同学会华南、云贵地区分会
2024年10月26日

会议时间	2024年10月26日（周六）		
会议地点	南方科技大学会议中心（二楼小会议室）		
住宿地点	君瑞酒店		
会议安排	10月26日	13:00	签到
	10月26日	13:30—17:20	学术研讨会
	10月26日	18:00	晚宴（君瑞酒店7层）

会议主题：口腔健康与保健

会场主持人 许颖（笹川15期）
笹川医学奖学金同学会 副理事长

会议议程

13:00-13:30	签到
13:30-13:35	致辞 赵群教授（10期）笹川医学奖学金同学会 理事长
13:35-13:40	致辞 陈见裕先生 日中医学协会 理事长
13:40-13:45	致辞 贵岛静子女士 日本国驻广州总领事馆总领事（石桥花信副领事代读）
13:45-13:55	致辞 尾形武寿先生 日本财团 理事长
13:55-14:00	致辞 王松灵院士（8期）中国科学院院士
14:00-14:05	致辞 王甲东教授（1期）笹川同学会华南地区名誉会长
14:05-14:10	合影

14:10-15:00	题目：浅谈口腔黏膜与保健 周建 教授 北京口腔医院	
15:00-15:50	题目：人类颅颌面进化与口腔疾病 李松 教授（笹川8期） 昆明医科大学	
15:50-16:30	题目：留学生活对牙科发展的帮助 李宝兴 教授（笹川26期） 深圳市罗湖区人民医院	
16:30-17:10	题目：儿童口腔舒适化诊疗 丁江峰 教授（笹川35期） 深圳市第六人民医院	
17:10-17:20	题目：大会总结 许颖 教授（笹川15期） 笹川医学奖学金同学会 副理事长	
18:00-19:30	晚宴	

4 支部学術会議

4.5 華東・湖北地区学術交流会

開催日	2024年12月28日(土)
場所	元一ヒルトン酒店(安徽省合肥市)
実施責任者	殷 猛 上海交通大学医学院附属上海兒童医学センター心胸外科教授 (第 27 期生)
参加者	52名 江蘇省、安徽省、上海市、浙江省、湖北省の笹川同学会会員
テーマ	結節(肺、乳腺、甲状腺)の診断治療及びその重要性
プログラム	<p>1) 孟召偉 天津医科大学総医院核医学科教授 (第 30 期生・第 40 期生<共同研究コース>・第 45 期生<共同研究コース>) 「甲状腺結節について」</p> <p>2) 万毅剛 南京大学医学院附属鼓楼医院教授(第 26 期生) 「中医学における結節の予防治療の研究進展」</p> <p>3) 賈立中 安徽省蕪湖市第一人民医院影像科医師(第 29 期生) 「肺結節の分類と影像診断の新展開」</p> <p>4) 蔣小華 同済大学附属上海東方医院教授(第 32 期生) 「消化管ポリープおよび腫瘍の内視鏡的・外科的治療の進歩」</p> <p>5) 張 瑛 寧波市医療センター李惠利医院准教授(第 43 期生) 「甲状腺および乳房結節の超音波診断」</p> <p>会員情報交流</p>



会場様子



万毅剛先生



孟召偉先生



張瑛先生



蔣小華先生

報告：各領域の専門家たちは結節に対して全面かつ深く紹介した。特に、結節の診断治療におけるB-超音波、CT、核医学などの応用に焦点を当てた。B-超音波はリアルタイム、非侵襲的、便利という利点により、甲状腺と乳線の結節のスクリーニングと診断において重要な位置を占めていると指摘した。結節の形態、境界、エコー、その他の特徴を観察することで、最初に良性か悪性かを判断し、その後の診断と治療に重要な手がかりを与えることができる。例えば、甲状腺結節の評価では、B-超音波のガイド下で細針吸引生検を行うことで、診断精度を大幅に向上させることができる。CT は肺結節の診断と治療において大きな利点がある。高解像度 CT は、肺結節の大きさ、密度、内部構造、周囲組織との関係などの詳細を明瞭に示すことができ、肺癌の早期発見や鑑別診断に役立つ。多相拡張CT スキャンは、結節の強化特性を通して結節の性質をさらに判断できる。PET-CT のような核医学検査は、代謝レベルから結節を分析できる。特に腫瘍の転移による結節の診断において、PET-CT は結節の良性・悪性の判定を助ける機能的情報を提供でき、診断漏れや誤診を避け、合理的な治療計画を立てるための強力な根拠となる。今回のセミナーを通して、結節の診断と治療における様々な画像技術の応用について、より明確に理解でき、臨床に合わせ、結節の診断と治療を改善するために、この知識を合理的に使用できると、参加者全員が感想を述べた。

笹川医学奖学金委员会办公室
地址：北京市海淀区西直门北大街联建路101号
西海公寓C座0248
联系电话：010-62256266 15901208067
邮 箱：sc1000@vip.163.com
网 址：https://www.sskw.net



笹川医学奖学金华东及 湖北地区分会

主办单位：笹川医学奖学金委员会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
承办单位：笹川医学奖学金委员会华东及湖北地区分会
2024年12月28日

会议时间	2024年12月28日（周六）		
会议地点	合肥市 元一希尔顿酒店（二楼元昌厅）		
会议安排	12月28日	14:00	签到
	12月28日	14:30—18:00	学术研讨会
	12月28日	18:00	晚餐

会议主题：各种结节的诊疗及其意义 （肺、乳腺及甲状腺）

会场主持人 殷猛 教授
上海交通大学医学院附属上海儿童医学中心 心胸外科
（笹川27期 笹川医学奖学金委员会常务理事）

会议议程

14:00-14:30	签到
14:30-14:35	致辞 李惠金 秘书长（笹川12期） 笹川医学奖学金委员会 秘书长
14:35-14:40	致辞 冈田光子 日中医学协会 事务局长
14:40-15:40	题目：甲状腺结节 孟召伟 教授（笹川30期） 天津医科大学总医院 核医学

15:40-16:10	题目：中医预防、治疗肺结节的研究进展 万毅刚 教授（笹川26期） 南京大学医学院附属鼓楼医院
16:10-16:40	题目：肺结节的分类及影像诊断思路 贾立中（笹川29期） 安徽省芜湖市第一人民医院影像科
16:40-17:10	题目：胃肠道息肉和肿瘤的内镜及外科处理进展 蒋小华 教授（笹川32期） 同济大学附属上海市东方医院
17:10-17:40	题目：甲状腺及乳腺结节的超声诊断 张臻 副教授（笹川43期） 宁波市医疗中心李惠利医院
17:40-17:50	大会总结 殷猛 教授（笹川27期） 笹川医学奖学金委员会常务理事
17:50-18:00	合影
18:00-19:30	晚餐

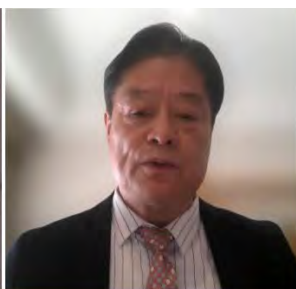
4 支部学術会議

4.6 日本支部学術交流会

開催日	2025年3月9日(日)
会場	TKP 品川カンファレンスセンター(東京都)
実施責任者	趙松吉 福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター 先端臨床研究センター教授(第19期生)
参加者	32名 祝学華中国駐日本国大使館科学技術部公使参事官(祝辞)、朱小博一中国駐日本国大使館科学技術部一等書記官、安達勇日中医学協会副会長/理事(講演)、日本在住の笹川同学会会員、WEB出席/趙群笹川同学会理事長、李忠金笹川同学会秘書長
テーマ	健康寿命を維持するための予防医学及び健康看護・健康づくり
プログラム	<p>1) 姚利 葉大学大学院看護学研究科高齢社会実践看護学特任助教 (第43期・第45期生<ポストドクターコース>) 「在留中国人高齢者の老いへの準備教育プログラムの開発」</p> <p>2) 畢袖晴 金沢大学大学院薬保健学総合研究科国際感染症制御学助教 (第23期生) 「新型コロナワクチン接種後の免疫反応と有効性」</p> <p>3) 単少傑 (株)レイデルジャパン・コンシューマヘルスケア事業本部 RA,R&D 統括 (第21期生) 「日本の健康食品の概念、発展および保健機能食品制度について」</p> <p>4) 呂玉泉 大阪大学大学院医学系研究科環境医学助教(第23期生) 「健康に配慮した飲酒」 <特別講演></p> <p>5) 安達勇 日中医学協会副会長・理事 静岡県立静岡がんセンター参与 「健康長寿の新知見」</p> <p>情報交換会</p>



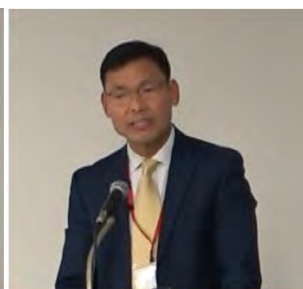
笹川同学会日本支部
趙松吉 会長
開会挨拶



笹川同学会
趙群 理事長
祝辞



日中医学協会
安達勇 副会長
祝辞



中国駐日本国大使館科学技術部
祝学華 公使参事官
祝辞



笹川同学会日本支部
李亜範 副会長（常務）
総司会



日中医学協会
岡田光子 事務局長
閉会祝辞



中国駐日本国大使館科学技術部
朱小博 一等書記官
閉会祝辞



笹川同学会日本支部
王少麗 副会長
閉会挨拶



講演1 姚 利先生（左）
座 長 吳小玉先生（右） 京都光華女子大学 教授（第21期）



講演2 畢袖晴先生（左）
座 長 李天成先生（右） 国立感染症研究所ウィルス第二部
主任研究官（第11期）



講演3 単少傑先生（左）
座 長 劉瑞芹先生（右） 医療法人社団順瑞会平和記念医院
理事長・院長（第25期生）



講演4 呂玉泉先生（左）
座 長 吳秀賢先生（右） 兵庫医科大学・講師（第19期）



講演会様子



趙 松吉 先生
笹川同学会日本支部会長
福島県立医科大学教授
(第19期生)



安達 勇 先生



集合写真

報告：学術交流会では、日本支部会員に加え、笹川同学会本部（中国）から趙群理事長、李忠金秘書長、中国駐日本国大使館科学技術部から祝学華公使参事官、朱小博一等書記官、日中医学協会から安達勇副会長/理事と事務局も参加し、交流を深めた。日本支部では毎年学術交流会を開催して会員の医学的知識・スキルの向上を図っている。2024 年度学術交流会は、「健康寿命を維持するための予防医学及び健康看護・健康づくり」をテーマに開催され、「健康寿命」をキーワードに、4 名の笹川生 OB が講演を行った。続いて、特別講演として、安達勇日中医学協会副会長/理事が、がん医療の現状と対策及び健康寿命を延ばすための医学的知見と、自身が実践している対策を具体的に紹介した。各講演は、健康づくりに係る身近なテーマについてデータをもとに分かりやすく解説された。会場から多くの質問が出され、活発な質疑討論が行われ、好評を博した。

笹川医学奨学金進修生同学会 日本支部2024年度総会・学術交流会



会 期：2025年3月9日（日）13：00～20：00

会 場：TKP品川カンファレンスセンター（現地開催＋Web 配信あり）

主 催：笹川同学会日本支部

共 催：笹川同学会本部・日中医学協会

助 成：日本財団・中国国家衛生健康委員会

司 会：李 亞莉 笹川同学会日本支部副会長（第13期）

第1部 総会 13：00～13：40

開会挨拶：趙 松吉 笹川同学会日本支部会長（第19期）

日本支部事業報告・事業案について：笹川同学会日本支部/日中医学協会

祝 辞：趙 群 笹川同学会理事長（第10期）

安達 勇 日中医学協会副会長

祝 学華 中華人民共和國駐日本国大使館科学技術部・公使参事官

第2部 学術交流会 13：40～14：30

主 題： ～健康寿命を維持するための予防医学及び健康看護・健康づくり～

座 長：呉 小玉 笹川同学会日本支部副会長（第21期）京都光華女子大学・健康科学部看護学科・教授

李 天成 国立感染症研究所ウィルス第二部・主任研究官（第11期）

講演1 在留中国人高齢者の老いへの準備教育プログラムの開発

演者：姚 利 日本支部看護師部門担当（第43期、45期・博士后研究員）/

千葉大学 看護学研究科 高齢社会実践看護学講座 特任助教

講演2 新型コロナワクチン接種後の免疫反応と有効性

演者：畢 袖晴 笹川同学会日本支部サイエンス部門担当（第23期）/

金沢大学大学院薬保健学総合研究科・国際感染症制御学・助教

14：40～15：30

座 長：劉 瑞芹 笹川同学会日本支部 医師部門担当（第25期）

医療法人社団順瑞会・平和記念医院・理事長・院長

呉 秀賢 笹川同学会日本支部医師部門・健康講座担当（第19期）/兵庫医科大学・泌尿器科・講師

講演3 日本の健康食品の概念、発展および保健機能食品制度について

演者：単 少傑 笹川同学会日本支部薬学部門担当（第21期）/

株式会社レイデルジャパン・コンシューマヘルスケア事業本部・RA, R & D 統括

講演4 健康に配慮した飲酒

演者：呂 玉泉 笹川同学会日本支部サイエンス部門担当（第15期）/大阪大学大学院医学系研究科・助教

休 憩 15：30～15：45

第3部 会長招待特別講演 15：45～16：35

座 長：趙 松吉 笹川同学会日本支部会長（第19期）/福島県立医科大学・教授

講演名 健康長寿への対策

講師：安達 勇 日中医学協会・副会長/静岡県立静岡がんセンター・参与

閉会挨拶 16：35～16：45

岡田 光子 日中医学協会・事務局長/王 少麗 笹川同学会日本支部副会長（第15期）

集合写真 16：45～17：30

第4部 情報交換会 18：30～20：30

5 日中ハイエンド医学フォーラム

5.1「大健康」フォーラム

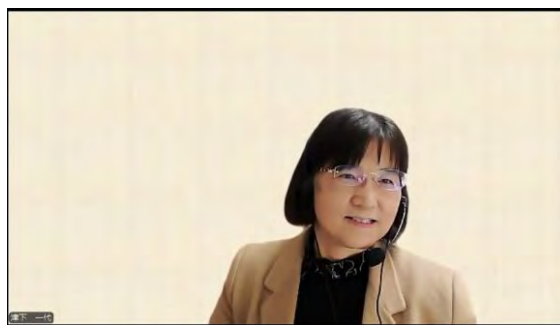
開催日	2024年12月21日(土)
場所	長富宮飯店(北京市)
実施責任者	李忠金 北京雅達翻訳会社総経理(第12期生)
参加者	100名(オンライン視聴者含む) 笹川同学会会員等
テーマ	生活習慣病
日本専門家	講演者 福田夏樹 在中国日本国大使館一等書記官 津下一代 女子栄養大学特任教授
プログラム	<p>1) 李劍虹 中国疾病予防コントロールセンター代謝室主任 「中国における慢性疾患の予防とコントロール戦略」</p> <p>2) 津下一代 女子栄養大学特任教授 「生活習慣病の予防と治療—地域における健康づくり—」</p> <p>3) 福田夏樹 在中国日本国大使館一等書記官 「日本における健康増進の取り組み」</p> <p>4) 李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血压センター長、 新疆高血压研究所所长(第7期生・第40期生<共同研究コース>) 「高血压管理の改善における高血压専門医療の重要な役割」</p> <p>5) 李顕筑 黒龍江省中医薬科学院教授(第10期生) 「生活習慣病を防ぐ清潔な環境」</p>



会場様子



李 劍虹主任



津下一代先生



福田夏樹一等書記官



李 南方先生



李 顯筑先生



集合写真

報告：本フォーラムは、当協会と笹川同学会の共同事業で、同学会会員がコーディネーターとなり、中国の医療衛生政策の重点課題をテーマに日中両国の専門家の講演と意見交換を通じて中国における課題解決に繋げる取り組みで、今回で9回目の開催になる。今回は「生活習慣病」をテーマに開催された。フォーラムでは、日本側専門家2名、中国側専門家1名及び笹川生2名が講演した。

李劍虹主任は主に中国における生活習慣病の罹患状況、生活習慣病に対する予防コントロールと政策、政策の実践と成果の3つについて紹介された。中国では全国に488か所の慢性疾患総合予防モデル地区を指定して、モニタリング等を行っていることが報告された。

津下一代先生は、日本における糖尿病対策、特にメタボリックシンドロームに着目した保健事業や糖尿病の合併症の抑制を目指した、医療と行政サービスとの連携について発表された。国民健康づくり運動「健康日本21(第二次)」の取組の結果及び「健康日本21(第三次)」の概要について報告された。また糖尿病性腎症重症化予防についても紹介された。

福田夏樹一等書記官は、日本の高齢化社会における健康づくりについて、「健康日本21(第二次)」の取組とともに「健康日本21(第三次)」の目標、健康寿命の延伸、健康格差の縮小等について発表された。また健康づくりのための睡眠ガイド2023についても紹介された。

李南方先生は、中国の高血圧症患者数は年々増加しており、2.45億人に達しているとも言われている。新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センターでは、専門家チームが高血圧症の少数民族1,500万人の高血圧コントロールに取組みが成果を挙げた(17%改善)ことを踏まえ、高血圧症専門学科設立の必要性について述べられた。

李顕筑先生は、中西医结合学の立場から糖尿病の予防治療の取組について発表された。世界糖尿病デー(11月4日)にあわせて五高(高血糖、高血圧、高血脂、高血粘、高尿酸)患者を対象に食事療法、運動療法などの中西医结合医療を1か月間行うリクリエーション基地の実践について紹介された。

笹川医学奖学金委员会办公室
地 址：北京市海淀区西直门北大街联想大厦101号
西直门大厦C座0240
联系电话：010-62256266 15901208067
邮 箱：scl000@vip163.com
网 址：https://www.sskw.net

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

笹川医学奖学金同学会 2024 年度大健康论坛

主办单位：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团

会议时间 2024 年 12 月 21 日（周六）下午

会议地点 长富宫饭店二楼（茉莉水莲厅）

会议安排
12 月 21 日 13:30 签到
12 月 21 日 14:00—18:00 学术研讨会
12 月 21 日 18:00 晚宴

会议主题：生活习惯病

会场主持人 李忠金（笹川 12 期）
笹川医学奖学金同学会 秘书长

会议议程

13:30-14:00 签到

14:00-14:05 致辞 赵群 教授（笹川 10 期）笹川医学奖学金同学会 理事长

14:05-14:10 致辞 冈田光子 日中医学协会 事务局长

14:10-15:00 题目：中国慢病防控策略
李剑虹 研究员
中国疾病预防控制中心代谢室主任



15:00-15:50 题目：生活习惯病的防治——社区健康促进活动
津下一代 女士
日本女子营养大学 特任教授



15:50-16:20 题目：日本在健康促进方面的举措
福田重树 先生
日本国驻华大使馆 一等秘书官



16:20-16:40 茶歇

16:40-17:10 题目：高血压专科医疗对提高高血压管理水平的
重要作用
李南方 教授（笹川 7 期）
新疆维吾尔自治区人民医院



17:10-17:40 题目：洁净共同土壤，防治生活方式病
李星斌 教授（笹川 8 期）
黑龙江省中医科学院



17:40-17:50 总结
赵群 教授（笹川 10 期）
笹川医学奖学金同学会 理事长

17:50-18:00 合影

18:00-20:30 晚宴

6 第 46 期研究者結団式

6.1 第46期研究者結団式

開催日	2025年3月7日(金)
会場	長富宮飯店、中国国家衛生健康委員会ビル内会議室
実施責任者	李忠金 笹川同学会秘書長(第12期生)
参加者	52名 第46期研究者、笹川同学会本部
プログラム	<p>～長富宮飯店から中国国家衛生健康委員会へ移動～</p> <p>●中国国家衛生健康委員会にて出国前説明会</p> <p>～中国国家衛生健康委員会から長富宮飯店へ移動～</p> <p>●結団式</p> <p>挨拶 趙群 笹川同学会理事長(第10期生)</p> <p>挨拶 岡田光子 日中医学協会事務局長</p> <p>笹川生体験談</p> <p>殷猛 上海交通大学医学院附属上海兒童医学センター心胸部外科教授 (第27期生)</p> <p>第46期笹川生自己紹介</p> <p>研究者交流会</p>



趙群先生



殷猛先生



集合写真

報告：国家衛生健康委員会国際合作司の「日中笹川医学奨学金制度第 46 期生出国前説明会」開催通知に基づき、第 46 期＜学位取得コース＞＜ポストドクターコース＞＜共同研究コース＞研究者全員が国家衛生健康委員会電教室での説明会に出席した。また、笹川同学会は第 46 期結団式を開催した。結団式では、第 46 期研究者全員が自己紹介し、来日の抱負などを述べ、同期の結束を固めることができた。

7 ＜共同研究コース＞研究者成果報告会

7.1 <共同研究コース>研究者成果報告会

開催日	2025年3月8日(土)
会場	長富宮飯店(北京市)
実施責任者	李忠金 笹川同学会秘書長(第12期生)
参加者	140名(オンライン参加を含む)
プログラム	<p>1) 蔣小華 同済大学附属上海市東方医院胃腸外科教授(第12期生) 比企直樹 北里大学医学部上部消化管外科学主任教授 「Functional Preservation Surgery for Gastric Cancer – My Learning and Exchange Report at Cancer Institute Hospital, JFCR」</p> <p>2) 孫長博 上海肺科医院胸外科主治医師(第44期生) 中島 淳 日本赤十字医療センター院長 「Advances in sarcopenia study: Towards precise body phenotypes and risk stratification in lung cancer」</p> <p>3) 李 博 首都医科大学附属北京中医医院 EBM 医学主任医師(第41期生) 中山健夫 京都大学大学院医学研究科健康情報学教授 「Comparison of Chinese and Japanese evidence-based guidelines and application of mixed research methods in the preparation of guidelines」</p> <p>4) 謝橋生 中日友好医院放射腫瘍科主治医師(第42期生) 秋元哲夫 東京慈恵会医科大学放射線医学講座臨床専任教授 「A Report of My Experience in Studying Proton Beam Therapy for Cancer at National Cancer Center Hospital East」</p> <p>5) 李小平 四川省人民医院心血管内科主任医師(第43期生) 池田隆徳 東邦大学医学部循環器内科学教授 「Genetic Research on Atrioventricular Nodal Reentrant Tachycardia (AVNRT)」</p> <p>6) 王 珊 首都医科大学附属北京児童医院皮膚科教授(第45期生) François NIYONSABA 順天堂大学大学院医学研究科アトピー 疾患研究センター副センター長、教授 「Exploration of mechanistic insights into the potential alleviating effects of sulforaphane in atopic dermatitis」</p> <p>7) 張愛英 首都医科大学附属北京佑安医院中西医结合感染病研究所研究員 (第44期生) 堀江重郎 順天堂大学大学院医学研究科泌尿器科学主任教授 「The application of ultrasensitive protein microarray technology in biomarker detection」</p>

8) 孟召偉 天津医科大学总医院核医学教授(第40期生)
 光武範吏 長崎大学原爆後障害医療研究所教授
 「Experimental and theragnostic studies on thyroid cancer – Sasakawa experiences report」



会場様子



本制度実施団体挨拶)

趙 群 笹川同学会理事長(第10期)



(本制度実施団体挨拶)

岡田光子 日中医学協会事務局長



(祝辞) 余志文 中国国家衛生健康委員会国際司亜太処処長

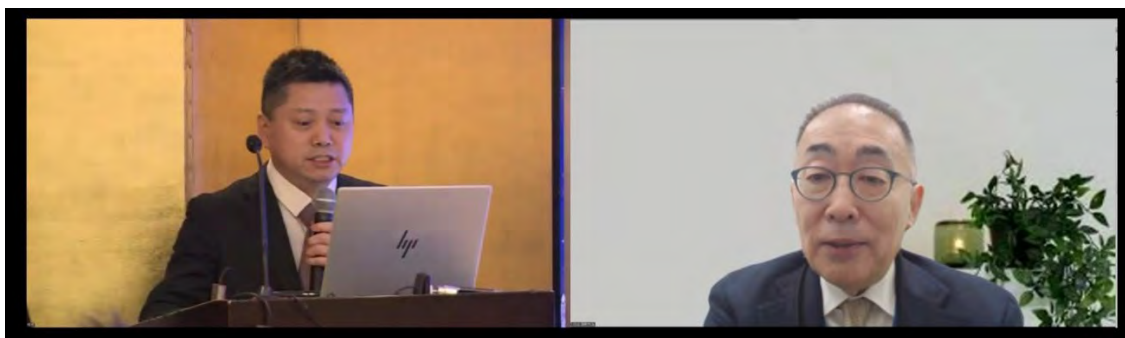


(祝辞)尾形武寿 日本財団理事長(笹川同学会代読)



(祝辞)福田夏樹 在中国日本国大使館一等書記官

■講演(プログラム順)



蔣 小華先生

比企直樹先生



孫 長博先生



中島 淳先生



李 博先生



中山健夫先生



謝 橋生先生



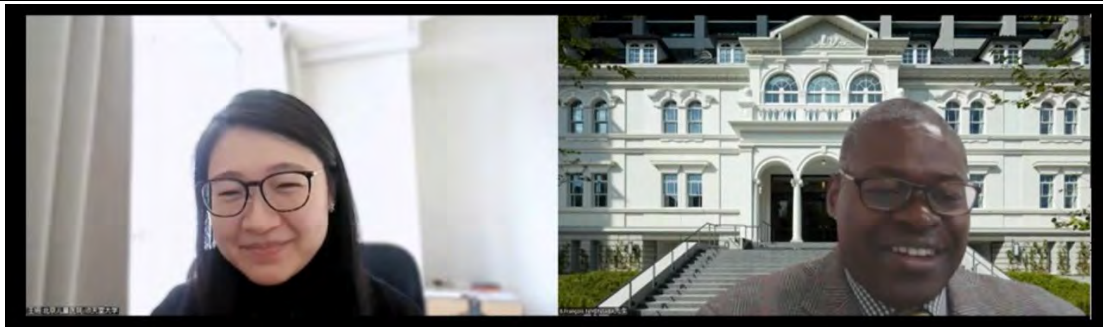
秋元哲夫先生



李 小平先生

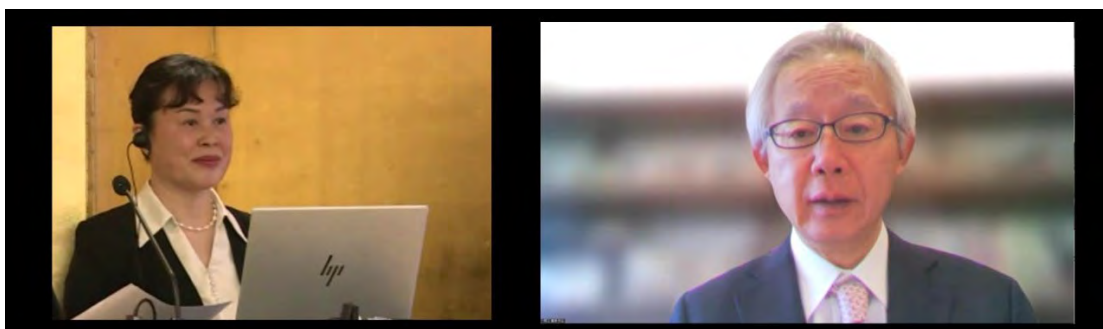


池田隆徳先生



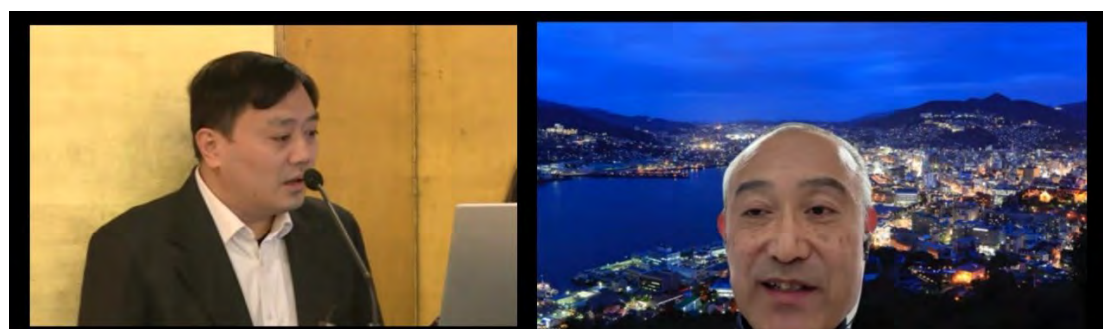
王 珊先生

François NIYONSABA 先生



張 愛英先生

堀江重郎先生



孟 召偉先生

光武範吏先生



集合写真

報告：成果報告会では、実施団体である笹川同学会と日中医学協会の挨拶に次いで、余志文中国国家衛生健康委員会国際司亜太處處長、尾形武寿日本財団理事長、福田夏樹在中国日本国大使館一等書記官よりご祝辞をいただいた。続いて、笹川同学会理事の韓晶岩先生（北京大学基礎医学院中西医结合教室教授、第 9 期研究者）の司会のもと、日本での共同研究を終え帰国した研究者を代表して 8 名が、共同研究の内容や国際学術誌への論文投稿、帰国後の本研究の発展状況等について発表し、日本の共同研究者から補足説明やコメントをいただいた。

笹川医学奖学金学会办公室

地址：北京市海淀区西直门北大街顺康里101号
西直门公寓C座0248
联系电话：010-62256266 15901208067
邮箱：sc1000@vip.163.com
网址：https://www.sskw.net

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

中日笹川医学奖学金项目（40-45期） 共同研究型研究员成果汇报会

主办单位：笹川医学奖学金学会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
承办单位：笹川医学奖学金学会
2025年3月8日

会议时间：2025年3月8日（周六）

会议地点：长富宫饭店（二层 茉莉南水厅厅）

会议安排：3月8日 8:00 签到
3月8日 8:30—12:00 成果汇报会
3月8日 12:00 午餐

会议主题：

中日笹川医学奖学金项目（40-45期）共同研究型研究员成果汇报会

会场主持人

韩磊岩 教授（笹川9期）
北京大学基础医学院中西医结合教研室

会议议程：

8:00-8:30	签到
8:30-8:35	致辞 赵群 笹川医学奖学金学会 理事长（笹川10期）
8:35-8:40	致辞 余志文 国家卫生健康委 国际司 亚太处处长
8:40-8:45	致辞 尾形武寿 日本财团 理事长
8:45-8:50	致辞 冈田光子 日中医学协会 事务局长
8:50-8:55	致辞 福田夏树 日本驻华使馆一等书记官
8:55-9:10	题目：甲状腺癌的诊疗研究进展-笹川经验汇报 孟召伟 教授（笹川30期、40期、45期） 天津医科大学总医院 核医学
9:10-9:15	光武 菊史 长崎大学原爆后障害医疗研究所 教授
9:15-9:30	题目：直肠癌切除术后复发：患者基线的微卫星不稳定性与预后风险分层 孙长博 主治医师（笹川38期、40期、44期） 上海肺科医院 胸外科
9:30-9:35	中岛 淳 日本红十字会医疗中心 院长

9:35-9:50	题目：中日循证指南比较及整合研究方法在指南制作中的应用 李博 主任医师（笹川41期） 首都医科大学附属北京中医医院 循证医学
9:50-9:55	中山 德夫 京都大学大学院医学研究科健康情报学 教授
9:55-10:10	题目：在日本进行肿瘤质子治疗的经验分享 谢桥生 主治医师（笹川42期） 中日友好医院 放射肿瘤科
10:10-10:15	秋元 哲夫 东京慈惠会医科大学放射线医学讲座 临床专任教授
10:15-10:25	茶歇
10:25-10:40	题目：AVNRT 遗传学研究 李小平 主任医师（笹川43期） 四川省人民医院 心血管内科
10:40-10:45	池田 隆德 东邦大学医学部循环器内科学 教授
10:45-11:00	题目：胃癌功能保留手术——我在重研的学习和交流汇报 蒋小华 教授（笹川32期、40期） 同济大学附属上海市东方医院 胃肠外科
11:00-11:05	比企 重树 北里大学医学部上部消化器外科学 主任教授
11:05-11:20	题目：超灵敏蛋白芯片技术在生物标志物检测中的应用 张爱英 研究员（笹川44期） 首都医科大学附属北京佑安医院 中西医结合传染病研究所
11:20-11:25	堀江 重郎 顺天堂大学大学院医学研究科泌尿科学 主任教授
11:25-11:40	题目：漢方とIsosaphene（關關漢方）在胃癌患者中潜在协同作用及机制 王璐 副教授（笹川45期） 首都医科大学附属北京儿童医院 皮肤科
11:40-11:45	Ranqis NYONGABA 顺天堂大学大学院医学研究科泌尿科学 副主任、教授
11:45-11:55	合影留念
11:55-12:00	合影
12:00-13:00	午餐